

事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

市町名	佐用町
-----	-----

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	これまで授業以外での体験活動などの指導者やボランティアの確保を教員が単独で行ってきた。これにより教員の異動により人材確保が難しくなっている。地域と学校をつなぐ役割の人材もいない。	コミュニティ・スクールの実践校を視察したり、学校と地域住民合同研修を開催した。	地域ごとに学校運営協議会を年に3～4回開催し、学校ボランティアへの協力を依頼し、地域から情報提供を求める。学校と地域の研修会も開催する。また、地域と学校をつなぐコーディネーター会議も年4回程度開催する。	地域との協働が進み、人材確保が円滑に行われた結果、教員の業務負担が軽減する。	地域との連携や交流実績数	96	件	100	117	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	コミュニティスクールの推進により地域との連携が進み、学校支援活動に参加する地域人材の確保は以前より円滑になった。これにより、学校行事や学習支援等において地域の協力を得る機会は増えている。しかし、活動内容の調整や役割分担が十分に整理されていないことから、教員の業務負担の軽減には十分につなげていない。今後は、活動内容や役割分担を明確にし、より効果的な協働体制を構築していくことが課題である。